

地域を活かす
スポーツ起点のまちづくり
～レノファ山口の活用について～

平成28年8月19日(金)

河村 孝 委員提出資料

■ スポーツを起点としたまちづくり

これまで

スポーツ振興

スポーツの普及を目指してきた

これから

スポーツによる 地域・経済の活性化



スポーツ

●人と人との交流

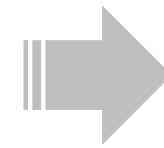
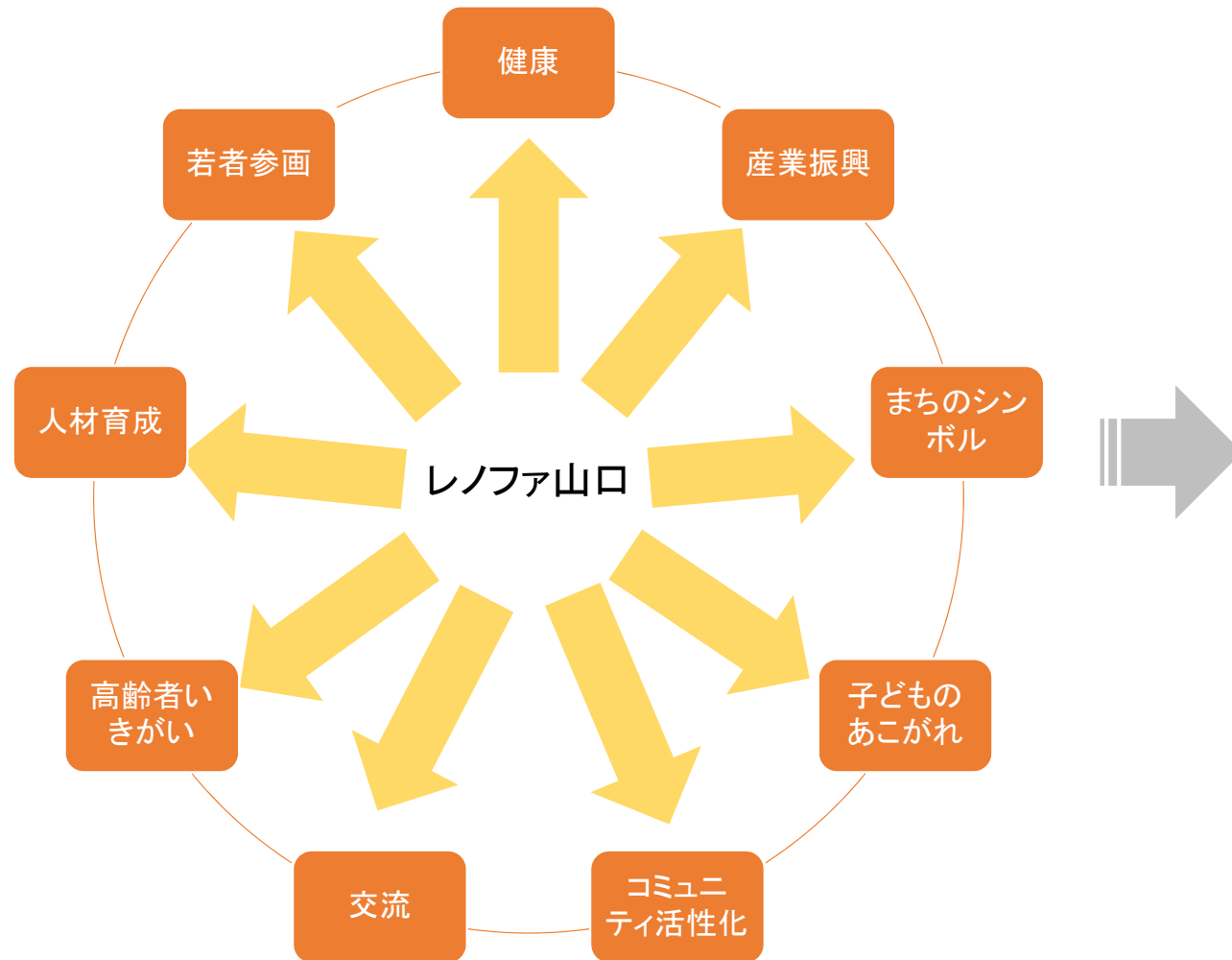
●地域と地域の交流

●地域の一体感

●健康 など

スポーツを起点としたまちづくりへ

■ レノファ山口を起点に



レノファ山口を活用したまちづくり
山口市の魅力・価値を
高める



事例① 健康

産学連携による健康食の開発 企業×プロスポーツ団体×大学

- ▶ 株式会社キタカタ×新潟アルビレックスRC×新潟医療福祉大学が連携し、「食・栄養の側面から新潟の健康増進に寄与することを目的に、“1日分の野菜(350g以上)を1食で摂れる御膳”をコンセプトとした『健菜御膳』を企画・開発。
- ▶ 食材は地元農家が生産する米と野菜を使用し、株式会社キタカタ系列店舗である『越後茶屋』全店舗にて販売して、地域の方に提供する仕組み。



【レノファ活用可能性】

- ▶ 大学、地元企業、地元農家と連携した健康食の開発
- ▶ 健康食と湯田温泉や、ウォーキング等のイベントと連携した健康イベントの実施等

地域の元気と健康を応援します!
今回は地元農家さんとのコラボが実現!

1食で野菜をたっぷり摂れる。
黄金豚の和膳 616kcal
白銀のふり和膳 873kcal

新潟アルビレックスRC
新潟医療福祉大学健康科学部
株式会社キタカタ
コラボ商品。

地元産の米と野菜を使用。

ごにょごにょに使用した野菜

ふり大根

サラダ

黄金はきみ揚げ

湯葉

漬物

ご飯、デザート

ごにょごにょに使用した野菜

銀鮭

サラダ

川上おぼろ豆腐

麻立貝アチャコ和え

かす汁

漬物

ご飯、デザート

こだわりの米と野菜を味わう
◆白銀のふり和膳◆ 873kcal
1,550円(税込)

こだわりの米と野菜を味わう
◆黄金豚の和膳◆ 616kcal
1,580円(税込)

ごたわりの米
南魚沼産とちほくほノラマ米使用
越後三山を囲む大ノラマ米産地の中、昔ながらの畑でつくられたおいしいお米です。

ごたわりの野菜
河合農場の野菜を使用
サラダには選定産地でつくられた10品種の野菜をたっぷり使用しました。

私たちが考えました

今回使用した野菜の効能

○パプリカ
パプリカにはビタミンCが豊富に含まれており、免疫力を高め、風邪や感染症の予防に効果的です。

○ルッコラ
ルッコラにはビタミンC、ビタミンK、鉄分が含まれており、血液の循環を促進し、骨密度を高める効果があります。

○トレビス
トレビスにはビタミンC、ビタミンK、鉄分が含まれており、血液の循環を促進し、骨密度を高める効果があります。

○スイスチャード
スイスチャードにはビタミンC、ビタミンK、鉄分が含まれており、血液の循環を促進し、骨密度を高める効果があります。

○からし菜
からし菜にはビタミンC、ビタミンK、鉄分が含まれており、血液の循環を促進し、骨密度を高める効果があります。

健康食を注文の方、新潟アルビレックスランニングクラブ主催
【福島潟 菜の花・SAKURA マラソン&ウォーク】ウォーキングの部 無料ご招待!

参照 新潟医療福祉大学HP

事例② 産業振興

町田ゼルビア×定食屋 ゼルビアキッチン

- 選手だけでなく、子供の発育や地域の方の健康への貢献を目的として開店した定食屋。
- 60種類以上のメニューを提供するほか、カロリーや栄養素も表示。
- 食事処としてだけではなく、地域の子どもたちの食育の場ともなるよう、地元契約農家と協力。子どもたちに農業体験を年数回実施し、採れた作物を使用。
- 店内で町田ゼルビアのアウェイ観戦もでき、地域のコミュニティの場を提供している。



【レノファ活用可能性】

- 地元企業、地元農家と連携した健康食の提供、コミュニティの場の創設
- レノファアンテナショップとの複合店の展開等



参照 町田ゼルビアHP

事例③ まちのシンボル

オリジナルマンホールの設置

【横浜市 × 横浜DeNAベイスターズ】

- 横浜スタジアム周辺の地域活性化を図るため、オリジナルデザインによるマンホールカバーを横浜DeNAベイスターズが制作し、横浜市に提供。



【かほく市 × 地元企業】

- 街中の賑わいを目的に協賛企業と連携して制作
- 企業ロゴ等がデザインされたマンホールの蓋にスマートフォンをかざすと動画が流れる仕組み。



【レノファ活用可能性】

- 市内のマンホールをレノファのロゴにし、市を盛り上げるツールとしての活用等。



参照 かほく市HP、横浜DeNAベイスターズHP

事例④ 子どものあこがれ

ジュビロ磐田 × 磐田市 × 小学校 市内小学校一斉観戦授業

- チームへの愛着はもとより、磐田市をふるさととして誇りに想う気持ちを育むことを目的に市内全22校の5、6年生を対象に一斉観戦授業を実施。約3,200人の小学生がバックスタンドを埋める一大イベント。
- ジュビロの選手が市内全学校に訪問を行い、交流を深め、当日は生徒が選手入場にに合わせてフラッグアトラクションを実施するなどして交流を図っている。



【レノファ活用可能性】

- 市内幼稚園、小学校等と連携したイベント実施による、地域愛の醸成
- 試合日に子供専用シャトルバスの運行等



参照 ジュビロ磐田HP

事例⑤ コミュニティ活性化

清水エスパルス×静岡市 地域交流応援シート

- ▶ 市内の各自治会単位で観戦チケット購入者を募り、貸し切りバスで送迎、専用シートでスタジアムの興奮と感動を共有してもらう。
- ▶ バスの車内では、社長、監督、選手のメッセージを収録したビデオの上映等も行い、スタジアムではボランティアスタッフによって、応援方法などのレクチャーも受ける等初めての方でも楽しめる仕組み。



【レノファ活用可能性】

- ▶ 自治会、老人クラブ、子ども会等、各団体の応援ツアー実施による地域コミュニティの活性化等



参照 J. LEAGUE NEWS
清水エスパルスHP

事例⑥ 交流

名古屋グランパス×大学生×名古屋市 スタジアムイベント「学祭天国」

- ▶ 名古屋市は学生の地域交流やアイデア実現を市が支援する取り組みで仮想キャンパス「ナゴ校」を開設。
- ▶ ナゴ校の学生とグランパスが連携し、スタジアムで「学祭天国」と名づけられた一連のイベントを実施。
- ▶ ナゴ校は「学祭天国」のほか、初心者観戦ガイドを作成したり、学生向け観戦ツアーなど、様々な企画をして盛り上げている。



【レノファ活用可能性】

- ▶ 市内の大学と連携したイベントの開催、交流
- ▶ 大学生のスタジアム運営参加による社会経験、地域との交流等



参照 J. LEAGUE NEWS
名古屋グランパスHP

事例⑦ 高齢者いきがい

大宮アルディージャ×さいたま市 高齢者向けストレッチ教室

- ▶ さいたま市と協働し、市内の公民館で開催している介護予防プログラムに2007年より継続的に大宮アルディージャから講師を派遣。
- ▶ サッカークラブならではの「高齢者向けストレッチ教室」を開催し、健康増進、体力向上、またコミュニケーションづくりの一助となることを目的としている。



【レノファ活用可能性】

- ▶ 高齢者の健康づくり、介護予防を通じたコミュニティ活性化
- ▶ 温泉やレノファ観戦をセットにした健康ツアーの実施等



参照 J. LEAGUE NEWS
大宮アルディージャHP

事例⑧ 人材育成

川崎フロンターレ×川崎市教育委員会 川崎フロンターレと本を読もう

- 川崎フロンターレと川崎市教育委員会が読書を推進することを目的に連携。
- クラブマスコットを使用した紙芝居の作成、選手によるお話会の実施、選手が選んだ推薦本を載せたリーフレットを図書館、学校、スタジアムで貼付、配布等を行っている。
- その他、スタジアムにて選手推薦図書の即売会などのイベントも実施している。



【レノファ活用可能性】

- 山口市と連携した、読書や食育等の推進、子供の健全育成
- 選手のオススメ紹介(本、観光場所、飲食店等)による地元企業との連携等



参照 川崎フロンターレHP

事例⑨ 若者参画

ヴィッセル神戸 「KOBE Vi女」

- 「女性がもっと楽しめるクラブ」をコンセプトに女性向けファンコミュニティ「KOBE Vi女」を創設
- 女性が楽しめるイベントの企画立案やコミュニティ拡大、広報活動などを実施。
- SNSを活用して観戦、グルメ、グッズ等、女性視点で様々な魅力を発信。



【レノファ活用可能性】

- 女性視点による応援グッズ、グルメ等の企画（タトゥー、Tシャツ等）
- オススメの選手紹介、選手と連携したイベント企画、SNSでの情報発信等



参照 ヴィッセル神戸HP
KOBE Vi女 Facebook
KOBE Vi女 Instagram

事例⑩ 各種団体、都市機能との連携 その1

川崎フロンターレ×場外イベント「フロンパーク」

- 場外イベント広場「フロンパーク」において川崎にちなんだイベント、アトラクション、グルメを提供。
- 川崎市内の牧場と連携し、動物たちとのふれあいができる「フロンターレ牧場」の実施。
- 川崎市で唯一の相撲部屋である春日山部屋と連携した「まげ結い体験」「ちゃんこ鍋」の提供等のイベント実施。
- 自転車、オートバイ、自動車など乗り物に関するものを大集結させた「Fサーキットin等々力」の実施など。



【レノファ活用可能性】

- 地元企業、団体と連携したイベント開催
- 市内牧場、道場門前商店街、車の展示等のイベントをスタジアム周辺で展開する等



参照 川崎フロンターレHP

事例⑪ 各種団体、都市機能との連携 その2

横浜DeNAベイスターズ

【コミュニティボールパーク化構想】

様々な仕掛けをすることにより、野球が好きな人から見たことがない人まで、様々な人がスタジアムに集いコミュニケーションを育むことを目的とする。

- 試合後のグラウンドを活用したイベントの開催(グラウンドシネマ、グラウンドキャンプ、大型スライダー・ふわふわ遊具の設置等)。
- 全国ご当地グルメ「B食祭」やビアガーデンの開催等
- ニーズに合わせたチケット販売等(50種類以上)

食事とおやつがついた「ファミチケ！ピクニックパック」、手荷物座席と横浜名物のサンドイッチがついた「女子シートプラス」など



【レノファ活用可能性】

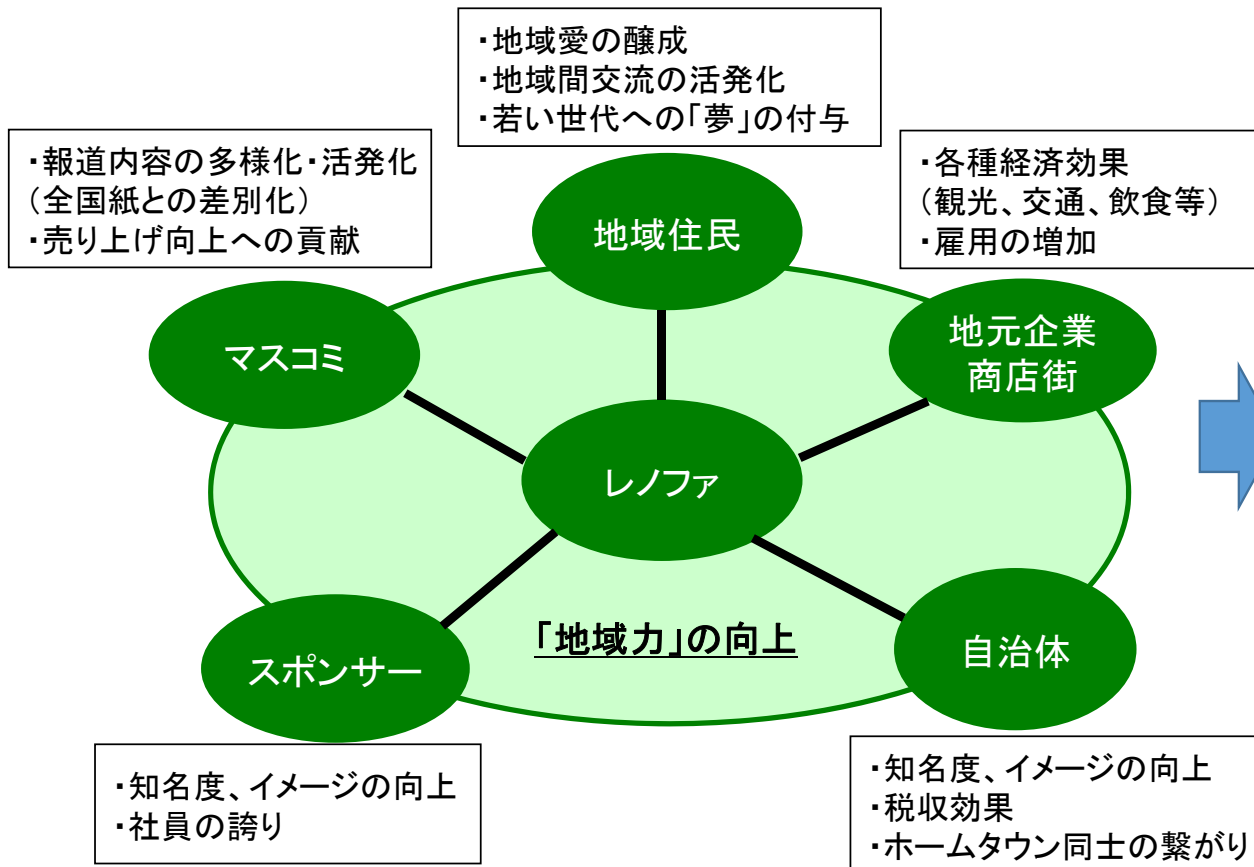
- スタジアムと山口情報芸術センター(YCAM)と連携したイベントの開催等
- また来たくなる楽しみやおもてなしの提供。地域のランドマーク化



参照 横浜DeNAベイスターズHP

将来的な発展性 スタジアム整備による地域活性

- Jリーグのクラブは、地域に様々な経済効果を与えとともに、サッカー観戦というエンターテインメントを提供することが可能。
- 一方で、Jリーグのクラブは社会貢献的な「ソーシャルビジネス(社会的企業)」としての性格をもち、地域力向上の源泉となりうる。



レノファをハブとして地域とのつながりが大きくなればなるほど地域力も大きくなっていく

【レノファによる地域活性化】

- ・チームが強ければ、観客が試合に足を運んでくれるという考え方ではなく、観客を日常とは違う空間で酔わせて、勝敗に関わらずまた来たいと思ってもらう。
- ・観客(市民、市外から誘導)を徹底的に楽しませる。
- ・自然と人が集まる地域のランドマーク＝「レノファ」
- ・地域でプロスポーツが盛り上がり、プロ選手に憧れる人も増えて、アマチュアスポーツが盛んになる。スポーツ用品、スポーツ教室、スポーツジム等の需要が高まり、プロを頂点に裾野の広いスポーツ産業が形成され、地域活性化に繋がる。

・スポーツエンターテインメントとの中心地として「専用スタジアム」を整備。

将来的な発展性 スタジアム整備による地域活性

北九州市における事例(J2 ギラヴァンツ北九州)/PFI方式

【事業概要】

都心部に人が集い、にぎわいあふれる北九州市の創出を目指し、Jリーグやラグビートップリーグなどの試合、小中高生のサッカー・ラグビー大会、グラウンドゴルフ大会、子どもたちへの芝生開放などに加え、まちににぎわいを生み出すコンサートやイベントの開催など、市民に夢と感動を提供できるスタジアムを整備するもの。

- (1) 建設地北九州市小倉北区浅野三丁目
- (2) 施設概要1万5千人収容のスタジアム(将来的に2万人以上に拡張可能)
- (3) 設計・建設費約99億円※建設用地は、民有地を借地
- (4) PFI事業者九電グループ(設計・建設および完成後15年間の維持管理・運営)
※PFI事業の契約金額:約115億円

【財源】

◆市の負担額

事業費約99億円－ totoくじ助成金30億円＝ 約69億円

◆約69億円は市債(借入れ)で賄い、

市債は30年間で返済する予定。

(毎年度の返済額は公債費全体の1%以下)

【市債を活用する理由】

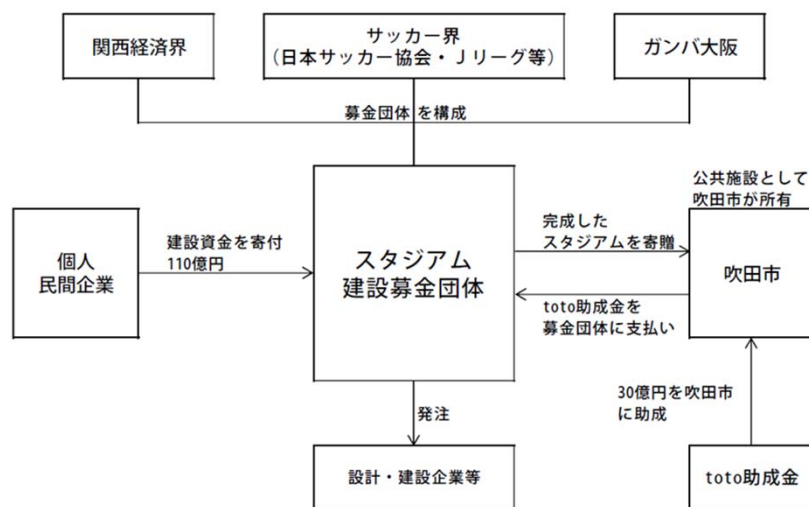
一般的に公共施設は長期間にわたり使用するため、「建設費用は現世代だけでなく便益を受ける将来世代にも分割してもらうのが公平である」とする『世代間の公平』という考え方に基づくもの。



参照 北九州市HP

将来的な発展性 スタジアム整備による地域活性

吹田市における事例(J1 ガンバ大阪)/負担付寄付方式



事業手法	募金団体設立型(地方自治法第96条の「負担付寄付」)
建設費	140億円(寄付金 110億円、toto助成金 30億円)
施設所有	吹田市(建設後)
土地所有	独立行政法人 日本万国博覧会記念機構 同機構より吹田市が賃借 賃借料は指定管理者(ガンバ大阪)が負担(16500万円程度)
維持管理費	指定管理者負担(ガンバ大阪)
修繕費	指定管理者負担(ガンバ大阪) *大規模修繕費も含む 指定管理者(ガンバ大阪)が年額5千万円を積立て 大規模修繕費を30年で15億円を目安としている